



“新”生徒自治会長&副会長、抱負を語る！

9月2日に次期生徒自治会長、副会長の投開票が行われ、その結果、会長には2年C組の片桐空翔（くうと）君（写真中央）が、副会長には2年B組相澤春花さん（向かって右）、2年C組の原 悠仁（ゆうじん）君（向かって左）がそれぞれ選出されました。早速校長室を訪ねてくれた3人に今後の抱負などを聞いてみました。



【片桐会長】

- 生徒の主体性や自由度の高さが飯田高校の特徴。班活動や生徒会行事の様子を各中学校や地域に積極的に発信し、勉強だけでない飯田高校の良さをアピールしたい。zoomを活用して中学校との交流会も行ってみたい。
- 生徒の多様な声を聞くために設置している「目安箱」の新たな活用方法を考えていきたい。例えば、Google formsを活用することもできるのではないかと思う。



【相澤副会長】

- 出身中学校は生徒が少なかったため、生徒会でやれることは限られていた。中学校の時にできなかったことを多くの人と一緒に取り組んでいきたい。また、全校生徒に生徒自治会の役割をしっかりと知ってもらうことも重要だと思う。

【原副会長】

- 飯田高校はトラブルもなく落ち着いた学校。会長をサポートしながら生徒自治会の活動を盛り上げていきたい。特に委員会担当なので、各委員会の活性化を促していきたい。

片桐会長らの意欲的な話を聞きながら、イギリスの法学者であるジェームズ・ブライスが言った「**地方自治は民主主義の学校**」であるという有名な言葉を思い出しました。現在、民主主義の在り方が全世界的に問われています。“民主主義の危機”という人もいます。生徒自治会の活動をより活発化させるとともに、生徒自治会の様々な活動を通して、民主主義と何かを考えるきっかけとしてもらいたいと思います。まさしく「**生徒自治会は民主主義の学校**」です。

これから1年間、どのような活動をしていくのか大いに楽しみです。私たち教員も彼らの伴走者として、生徒自治会の活動を支援していきたいと思います。